

徳島県環境白書の刊行に当たって

私たちが生活を営む上で、地球温暖化をはじめとする環境問題は今や避けて通れない問題です。生態系の変化、緑の減少や気温の上昇など、既に身近なところで環境の変化は起こっており、今のままでは、この美しい地球を将来に残していくことが困難になる可能性があります。

この美しい地球で私たち自身が生活していくため、そして何より、この素晴らしい地球環境を将来の世代に引き継いでいくために、私たちは最大限の力を注いでいく責任があります。

2009年12月には、デンマークにおいて、気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15)が開催され、地球温暖化対策に関する国際的な枠組みについての話し合いが行われました。また、これに先駆け、我が国では、温室効果ガス排出量について、2020年までに1990年比で25%削減を目指すことを表明しており、低炭素社会の実現に向けた流れが一層加速していくものと思われれます。

本県においても、「環境の世紀」をリードする「環境首都とくしま」の実現を県政の基本目標に掲げ、事業者・学識経験者・民間団体・行政機関等で環境活動を推進する「とくしま環境県民会議」を中心に「低炭素型交通システム」の構築、「徳島夏・冬のエコスタイル」や「レジ袋削減運動」の推進など、「意識啓発」の段階から「実践・行動」の段階へと、各種の積極的な取り組みを展開しております。

また、2009年4月には、事業者や県民など「あらゆる主体」の取り組みを促す拠り所となる、「中四国初」の「徳島県地球温暖化対策推進条例」を施行するとともに、「徳島県地球温暖化対策指針」の策定や「とくしま環境の日」の設定など、これまでも増して、より実践的な取り組みを進めております。

さらには、環境の保全・創造はもとより、本県経済の振興・発展や雇用の創出を図るため、「とくしま新成長戦略(グリーンニューディール)推進事業」を進めており、本県の強みである「LED」や「リチウムイオン電池」などの環境先端技術、「素晴らしい自然」や「豊かな森林資源」等を活かし、創意工夫を凝らしながら、施策展開をはかっていることとしております。

私たちが世界に誇れる「環境首都とくしま」を実現していくためには、県民・事業者・民間団体など各主体の取り組みが必要不可欠であります。本書を通じ、県民の皆様が本県の環境問題に対し認識を深めていただき、環境の保全・創造の取り組みをさらに進めるための一助となれば幸いです。

平成22年3月

徳島県知事 飯泉 嘉門